

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分市しらゆりハイツ
------	------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和3年2月24日

③事業者情報

名 称：大分市しらゆりハイツ	種 別：母子生活支援施設
代表者氏名：施設長 佐々木克典	定員（利用人数）40世帯 （19世帯52名）
所在地：〒870-0815 大分市南春日町4番40号 TEL：097-545-9502	

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

公立施設の母子生活支援施設「大分市しらゆりハイツ」は、基本理念を親子一体型の社会的養護施設として、「安心感のある生活の場」を提供することにより、精神的、経済的自立を積極的に促進するとともに、子どもの人権を守り、健やかに育つ環境づくりを目指し、併せて地域福祉の増進に努めると定めている。基本方針5項目は、理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容を明文化している。周知についてはパンフレットを使い毎年の母親集会や職員研修の場で周知が図られている。

【地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。】

主に退所後近隣に居住する退所者家庭への支援に取り組んでいる。活動例としては、不登校児家庭への訪問支援、問題行動時の支援などアウトリーチを行い伴走支援に取り組んでいる。

【母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

施設理念・方針、母子生活支援施設倫理綱領、運営指針、運営ハンドブックを基本となり、個々の支援の標準的な実施方法に反映されている。年度当初に周知し年度末に振り返りを行っている。

【日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。】

母親や子どもが今後どういった生活を送りたいかの意向を確認・把握している。また、家族応援会議という新たな取り組みを企画している。そこで日頃の課題について子供たちがみんなで解決にむけた話し合いを行い、主体的に生活する能力を引き出す体制整備を整えている。

【被虐待児に対しては虐待に関する専門性をもってかかわり、虐待体験からの回復を支援している。】

個別のケースに応じた支援に取り組み、子どもに寄り添いながら対応しているが、必要に応じて児童相談所や子ども家庭支援センター等の専門機関につなげている。またネットワーク間での会議にて方向性の共有を図っている。

◇改善を求められる点

【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

質の高い支援を実現するためには、必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針について担当課等との協議を希望する。

【安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。】

ヒヤリハット事例には支援の質を高める貴重な意見が含まれることもあるので、対応策の整理集約を行い、標準的实施方法へ反映することを期待する。

【母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。】

休日出勤時の補完保育が充実することで、これまで以上に母親の能力開発や就労支援につながる環境整備を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回は、平成29年度に続いて3回目の受審でありました。前回の受審結果と比較すると、a評価が38.3%から95.8%になり、全体的には課題の改善がなされているという評価をいただきました。これもひとえに職員が一丸となり改善に努めた結果と思います。

全体の講評の中では、入所者の主体性を引き出し尊重した支援の取り組みについて優れていると評価していただき、今後も複雑化するニーズに対応できるよう更なる支援の質の向上に努めていきます。

また、福祉人材の確保育成などの運営面においては、公立施設ゆえの難しさもありますが、評価結果を踏まえ、施設の運営の質の向上に努めていきます。

なお、利用者家族等アンケートについては、施設職員には言いづらい率直な意見等も期待できるため、結果を施設に還元できるような活用を望みます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）